

令和 8 年 8 月 19 日 午後 1 時 00 分受領

令和 8 年 8 月 19 日

日出町議会議長 阿部 真二 様

議員番号・氏名 5 番 岡山 栄蔵

一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 本町の「稼ぐ力」と地域経済の活性化について	人口減少や少子高齢化が進む中、将来にわたり安定した行政サービスを維持していくためには、自主財源の確保とともに、町内事業者の売上や所得の向上、雇用の創出など、地域経済全体の「稼ぐ力」を高めていくことが重要である。 本町では、ふるさと納税をはじめ、企業誘致、農林水産業、商工業、観光振興など様々な施策を実施している。 これらの施策について、事業の実施件数だけではなく、町内事業者の売上や所得、雇用、地域経済への波及効果など、具体的な成果につなげていく必要があると考える。	① 産業振興施策について、町内事業者の売上、所得、雇用等への効果をどのように把握・検証しているのか。また、今後、具体的な成果指標を設定する考えはあるのか。 ② ふるさと納税について、寄附額、事業経費、実質的に町に残る財源をどのように評価しているのか。また、事業運営の効率化についてどのように考えているのか。 ③ ふるさと納税の返礼品調達等を通じて、町内事業者へどの程度経済的に還元されているのか。また、その地域経済への波及効果をどのように把握しているのか。	



質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
	また、ふるさと納税については、寄附額の拡大だけでなく、町に残る財源や町内事業者への経済的な還元、新たな地域商品の開発など、地域産業の育成につながる仕組みとして活用していくことが重要である。 そこで、本町の「稼ぐ力」を高めるための今後の取組について問う。	④ 返礼品提供事業者や新たな返礼品の拡大、町内の地域資源の掘り起こし、商品化、販売までの伴走支援について、今後どのように取り組んでいくのか。 ⑤ 商工会、観光関係者、金融機関、農林水産業者、民間事業者等との産官学金連携を活用し、地域資源の発掘から商品開発、販路開拓、ふるさと納税への展開までを一体的に支援する「地域商社的な機能」について、どのように考えているのか。	
2 人口減少時代における公共施設のあり方について	人口減少や少子高齢化が進む一方、学校、公民館、体育施設等の公共施設の老朽化が進み、今後、大規模改修や更新に多額の財政負担が見込まれる。 本町では、第2期公共施設等総合管理計画の策定に向けた改定作業が行われている。 今後、限られた財源の中で必要な行政サービスを維持しながら、将来世代に過度な負担を残さないためには、施設の長寿命化だけでなく、公共施設の総量適正化、集約化・複合化、維持管理費の見える化などを含めた検討が必要であると考えます。	① 人口減少や施設の老朽化が進む中、現在の公共施設の規模や施設数を今後も維持していくことについて、財政面を含めどのように認識しているのか。 ② 現在の公共施設を維持していく場合、今後10年間に見込まれる大規模改修や更新費用及びその財源について、どのように見通しているのか。 ③ 第2期公共施設等総合管理計画において、公共施設の総量適正化や縮減についてどのような方向性を示す考えなのか。また、施設数、延床面積、維持管理費等について数値目標を設定する考えはあるのか。	

質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
	そこで、第２期公共施設等総合管理計画の策定を踏まえ、今後の公共施設のあり方について問う。	④ 必要な行政サービスや機能を維持するという観点から、公共施設の集約化・複合化についてどのように考えているのか。 ⑤ 公共施設の維持、改修、集約、廃止等を判断する際、利用状況、維持管理費、老朽化状況、安全性、将来人口、代替施設の有無等について、客観的な判断基準を設ける考えはあるのか。 ⑥ 公共施設ごとの利用状況、維持管理費、老朽化状況、今後必要となる改修・更新費等を町民に分かりやすく「見える化」し、情報を共有する考えはあるのか。 ⑦ 新たな公共施設の整備や大規模改修を行う際、建設費だけでなく、将来の維持管理費や更新費を含めたライフサイクルコストを踏まえて事業を判断する仕組みについて、どのように考えているのか。	